



<令和5年度 3月号>

令和6年2月29日

横浜市立新石川小学校

# 学校だより

【学校教育目標】  
豊かなかかわりを通して  
ともに高め合い 主体的に取り組む子

学校 HP はこちらから

TEL911-6281 FAX912-4892



## 「どうぞ」がっぱいの新石川！

校長 小嶋 千里

2月24日(土)「もちつき大会」が学校で行われました。子どもやご家族で200名を超える参加者で大盛況でした。コロナ禍以来の4年ぶりの開催で、私も職員とともに初めて参加させていただきました。

前日(この冬一番の冷たい雨の日)、もち米40キロを下準備してくださるところからはじまり、当日は7基のかまどで、薪をつかって次々ともち米が蒸されていきます。杵と臼でついて、目の前で次々とできあがるつきたてのおもちが手際よく丸められ、きなこや大根おろしにまぶされていきました。また、横ではもちつきの進み具合を見ながら絶妙のタイミングでお雑煮をかまどで調理してくださっていました。その間子どもたちは「よいしょー!」「よいしょー!」ともちをついたり、つきたてのおもちを食べたり、校庭を走ったり、と和やかな時間を過ごしていました。

この行事は、地域の教育ボランティア「土曜塾」が主催してくださっていますが、担い手の方々の多くは、かつてお子様が新石川小で学ばれ、今では大きくなられた地域の皆様です。お子様が大きくなられた後にも、次の世代の新石川小の子どもたちのために活動をしてくださる方々がこんなにいらっしゃることに感嘆します。

「どうぞのいす」という絵本がありますが、人々(動物ですが)の見えない善意が次々とつながるお話です。新石川のもちつき大会にも、世代をまたいだ「どうぞ」の気持ちがあちらこちらに込められているように感じました。経済的な利益を超えた、人と人のつながりや交流は子どもの心を豊かに育みます。

学校では一年間のまとめとなる3月を迎えます。3月16日(土)の卒業式へ向けて、「卒業おめでとう集会」や「おめでとうの壁飾り」、「卒業おめでとう給食」など、お祝いの活動が続きます。心を含めて「どうぞ」の気持ちを形にしていきたいと思います。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様、今年度の新石川小の教育活動にご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

